

北上市立  
**鬼の館** だより

2014. 3  
第40号



## 鬼の館開館20周年記念特別芸能公演

鬼の館は今年開館20年を迎えます。これを記念し、6月に鬼剣舞、大乘神楽特別公演を開催します。



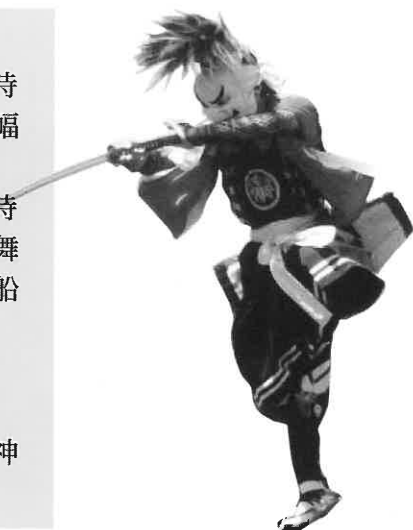
### ○鬼剣舞公演

と き…6月1日(日)午後1時30分～3時  
出演団体…滑田鬼剣舞、鬼柳鬼剣舞、南下幅  
念仏剣舞 (奥州市胆沢区)

と き…6月22日(日)午後1時30分～3時  
出演団体…岩崎鬼剣舞、永井の大念仏剣舞  
(盛岡市)、浦浜念仏剣舞 (大船  
渡市)

### ○大乘神楽公演

と き…6月8日(日)午前10時～4時  
出演団体…市内大乘神楽7団体、雄勝法印神  
楽 (宮城県石巻市)



# 鬼の館2013～14 下半期をふりかえって

## 私たちの鬼剣舞

企画展「私たちの鬼剣舞」は、8月31日から11月17日まで開催しました。岩手は民俗芸能の宝庫と言われていますが、北上市はその中でも県内有数の保存数を誇ります。鬼剣舞発祥の地に建てられた当館は、鬼専門の博物館として様々な鬼剣舞の歴史等をご紹介します。本展では、伝承とともに一つの素材としてどの様に成長し受け入れられてきたか、館蔵資料の他、市内の色々な場所で見られるモニュメントや芸能公演の風景などもご紹介しました。



モニュメント等も写真とパネルで紹介しました

## 冬休みワークショップ

冬休みワークショップは12月23日・26日・1月8日の3日間行いました。今回は「鬼版画カレンダー」「開運★鬼剣舞熊手」「鬼剣舞和紙面」を作りました。なかでも申し込みが殺到した「開運★鬼剣舞熊手」作りでは、花巻市東和町の成島和紙などを使用し小さな張り子面を作成したものに鬼剣舞の顔を描いたり、小判や祝い鶴という羽の形が変わった織り方の折鶴などを作り、たくさんの「福」がかき集められるよう熊手に取りつけました。



オリジナル熊手の完成だぁ！

## 鬼学講座

今回で17回目をむかえる鬼学講座は「異界・他界を知る」をテーマとし、全5回の講座で日本人の古くからの異界・他界のとらえ方について探求し、鬼的存在の生まれた背景を学習しました。初回の移動学習では葛巻町の正福寺で町の指定文化財になっている鬼卒像を見学しました。鬼卒像は当館常設展示室にレプリカが展示されており、実物の鬼卒像を見ることが出来る貴重な機会となりました。また、4回の座学では専門家の講演を聴講し実り多い講座となりました。



正福寺山門にて

## 大乘神楽公演

新春大乘神楽公演は1月12日、鬼の館エントランスホールにて行なわれました。北上市文化財活性化実行委員会の主催で行われた今回の公演は、北上市内の7保存会の出演により全13演目をご披露いただきました。岩屋に籠もってしまった天照大御神を導き出すために、八百万の神々が岩戸の前で繰り広げる神事を舞に表現した「天の岩戸」では、ようやく開いた岩戸から天照大御神の姿が現れ、来場者から大きな拍手が湧き起こりました。



村崎野大乘神楽による「天の岩戸」

## 福豆鬼節分会開催!! 鬼っこわんぱく講座「鬼剣舞体験」開講!!

「福豆鬼節分会」は2月2日、屋外ステージで行ないました。当日は、朝から天候があまり良くなかったものの開催時間には、多くの来場者にお越しいただく事が出来ました。恒例の「福豆・餅まき」や「恵方巻き」を楽しんでいただき、芸能公演も新たに2団体が加わり内容も盛りだくさんで、大人も子供もあふれる幸福祈願行事となりました。

今年はどうな良いことがあるかな〜♪



「福はあ内!鬼もお内!」

併せて恒例の鬼っこわんぱく講座「鬼剣舞体験」も開講いたしました。今年は4歳児から小学校5年までのお友達が集まりました。みんなで鬼剣舞のお面作りや「刀剣舞の狂い」を岩崎鬼剣舞保存会の皆様からご指導いただき、福豆鬼節分会のステージで堂々とした姿で踊りを披露しました。最後は凛々しく記念撮影をしました。

来年も踊ってくれると嬉しいなあ〜^-^



みんなそろって「はい、ポーズ!」

## 市民開放展

市民開放展は1月10日から3月30日まで鬼の館企画展示室で行いました。

第1期は1月10日～2月13日の小原ハルミ写真展「四季の詩」。

第2期は2月18日～3月30日の原良子作品展「面（一刀彫）と絵（油彩）」。

結婚祝いに父からカメラをプレゼントされたのがきっかけで写真を始めたという小原さん（滑田在

住）の作品は、すべてフィルムで撮影したもの。入口正面に飾られた岩手山と一本桜を始め、幻想的な雲海や雪景色など風景写真を展示しました。

一方、北上市内で「面工房はら」を主宰している原さん（黒沢尻在住）は、南部桐を使用し胡粉と漆で仕上げた勇壮で力強い鬼剣舞の面を始めとした一刀彫の作品と、白樺林、滝など自然の中で風景や植物などを描いた油彩を展示しました。



小原ハルミ写真展「四季の詩」



原良子作品展「面（一刀彫）と絵（油彩）」

学芸ルームから

# ど れい 土 鈴 の 魅 力

主任学芸員 後藤 美穂



平成25年度春の特別展では、「鬼と玩具と土産もの」と題して、鬼がモチーフになっている様々な玩具や土産物をご紹介しました。凧や絵皿、キーホルダーなどに各地の著名な鬼の伝承が表現され、あるものは勇ましく、あるものはほっこりとしたかわいらしいさが表現され、とてもユニークな資料の数々でした。

中でもひときわ目を引いたのが土鈴です。名前のとおり土製の鈴であり、ぼつてりとした温かみのある丸さが特徴です。また、静かに振ってみるとコロコロとかわいらしい音がします。この音が、土鈴の魅力の一つで、素焼きの土特有の乾いた音色は金属製のそれとも違って温かみがあり、一つ一つ違った音がします。

土鈴の起源はとても古く、日本では縄文時代の中ごろには素焼きの鈴が登場し、山梨県の釈迦堂遺跡から見つかったものが有名です。かつては鈴の音そのものに神仏が宿ると考えられていたようで、鈴の音はとても神聖なものだったと考えられています。

さて、土鈴はその後金属製の鈴にとって代わられますが、近世に入って再び登場します。窯業の発展に伴い、土鈴は土産物としての価値が見いだされました。いずれも魔よけや厄除けとしての効果が期待されており、鈴の音に神仏が宿るとした古代の考え方はここまで引き継がれていることとなります。

鬼の館では、これまでに16点の土鈴を収集してきました。今年度は新たに1点収集し、合わせて17点

になりました。手頃な大きさと価格、どれも少しずつ違う音にはファンも多く、熱心な収集家もいるほどです。

今年度収集した長崎県平戸市の鬼洋蝶土鈴は、当地に伝承される凧「鬼洋蝶」を題材としたものです。上部には怪物、下部には怪物に立ち向かう武士が描かれています。一説にはこの武将は渡辺綱とされ、羅生門の鬼を倒すところとも言われています。鬼洋蝶の語源は膺懲（<sup>ようちやう</sup>征伐して懲らしめるの意味）であるとも言われ、魔物に果敢に攻めかかる先祖を表現しているとも考えられているようです。

収集した土鈴の一部は、現在エントランスホールにて展示中です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



平成25年度収集資料  
「平戸鬼洋蝶土鈴」

# 鬼カフェ

● No.2

## 岩崎地区青年会 虹色の会 “絆”



虹色の会 “絆”  
代表の小原さん

岩崎地区青年会虹色の会 “絆” が2013年度全国地域青年「実践大賞」で特別賞を受賞しました。同会が行っている夏の「岩崎地区納涼祭」と冬の「福豆鬼節分会」の活動で地域活性化や地域のリーダー育成に取り組んでいることが評価されたものです。鬼の館としても大変うれしい受賞です。

結成3年目での受賞に代表の小原和弘さんは、「受賞は虹色の会にとって大変嬉しいこと。この賞を一つの通過点として、これからも各イベントを通して、地域の発展や地元の人達との“絆づくり”に貢献したいと思う。同時にリーダーとなる人材育成や、担い手作りにも積極的に取り組んでいきたい」と話していました。

\*\*\*\*\*

### 来館者の声

- 愛知県のお祭りもありました。うれしい。アイチ県でもオニの面がいろいろありますよ。(H25. 7.21)
- きょうは、おめんをつくってたのしかったです。(H25. 7.28)
- 鬼は色々な種類があつて面白い。優しい鬼もいい。(H25. 8.18)
- 動くお面にびっくりした。(H25. 9.4)
- 文化祭やすんで女4人で来たおー♡！たのしかったっちゃん From仙台 (H25. 9.14)
- お面作りがとても勉強になった。(H25. 11.10)
- ふるさと弘前が取り上げられていてとてもうれしかったです。(H25.12.8)
- 娘と初めて来ました。今度はパパと3人でゆっくり来たいです。(H26. 2.1)
- 泣いた赤おにのお話がとても感動しました。岩手(東北)の歴史を子どもに伝えたくて家族で来ました。(H26. 2.16)

(入館者感想ノートより)

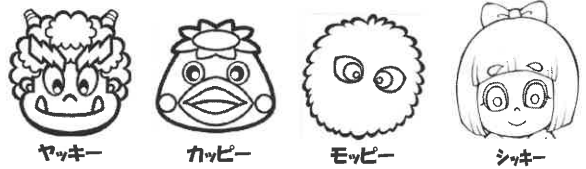
たくさんの感想ありがとうございます！来館の際はぜひご記入ください。

\*\*\*\*\*

## 平成26年度上半期事業のお知らせ

- 特別展「顔・種種」  
4月26～8月17日  
当館収蔵資料を中心に世界各国の面を通して、顔の表現の多様性を紹介します。
- 第20回大乘神楽大会  
6月8日
- 鬼っこわんぱく講座  
5月5日 こどもの日わくわくイベント  
7月 わんぱく講座「灯籠と大型紙芝居づくり」  
1月～2月 鬼剣舞体験
- 鬼ッス・フレイミュージアム  
7月～8月 夏休みワークショップ  
12月～1月 冬休みワークショップ  
随時 張り子面づくり(鬼剣舞・カッパ)

鬼の館の「ぬり絵コーナー」のキャラクターたち



ヤッキー カッピー モッピー シッキー

鬼が怖くて泣いちゃった子も笑顔になるよ！

- 逢魔が時ナイトミュージアム  
8月7・8日  
開館時間を延長し夜の鬼の館を楽しんでいただきます。民俗芸能公演も合わせて行います。
- 企画展「あの世」  
9月6日～11月16日  
盆行事や死者を供養するために描かれ奉納された絵額を通じて、日本人のあの世に対するとらえ方を紹介します。
- 鬼学講座  
11月～12月  
テーマ：鬼と伝承
- 市民開放事業  
12月13日～3月15日
- 福豆鬼節分会  
2月1日
- 鬼の館芸能公演  
4月～10月の第4日曜日の他  
5月3・4日、6月1・22日、8月14日

## 鬼の里だより

### ●企画展・特別展

<企画展> 「私たちの鬼剣舞」  
8月31日～11月17日 3,464人

### ●鬼学講座

- 第1回 11月2日 移動学習  
葛巻・一戸町方面 受講者21人
- 第2回 11月10日 描かれた死者とあの世  
講師：前川 さおり氏 受講者15人
- 第3回 11月17日 産育習俗からみる他界観  
講師：鈴木 由利子氏 受講者20人
- 第4回 11月23日 盆行事にみる他界と異界  
講師：中田 功一氏 受講者15人
- 第5回 12月7日 他界観の変遷  
講師：岩崎 真幸氏 受講者22人

### ●福豆鬼節分

2月2日 入場者2,600人

●鬼ッズ・プレミュージアム 10月1日～3月31日  
和紙面づくり 参加者98人  
出前講座2件 参加者46人

<冬休みワークショップ>

- 12月23日 鬼版画カレンダーづくり 参加者24人  
12月26日 開運★鬼剣舞熊手づくり 参加者20人  
1月8日 鬼剣舞和紙面づくり 参加者25人

### ●鬼っこわんぱく講座

鬼剣舞体験(全6回講座) 参加者16人  
1月5日・11日・19日・26日・2月1日・2日

### ●鬼の館芸能公演

- 10月6日 鬼柳鬼剣舞め組  
岩崎おなご鬼剣舞 観客167人
- 10月27日 二子鬼剣舞 観客179人
- 12月22日 北藤根鬼剣舞 観客80人

## 利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。  
なお、入館は午後4時30分まで。

- 休館日 ・12月～3月の月曜日  
・12月～3月の国民の祝日の翌日  
(土・日・月曜日の場合は火曜日)  
・館内整理日(11月27日～11月30日)  
・年末年始(12月28日～1月4日)

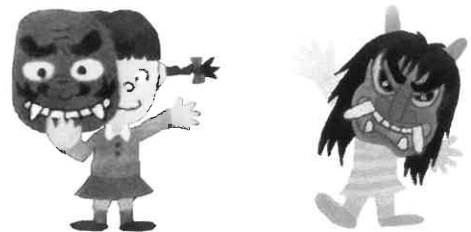
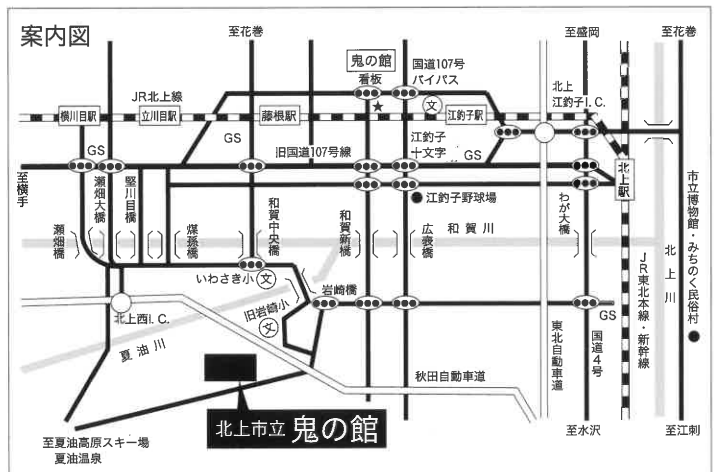
入館料	一般	500円(400円)
	高校生	240円(180円)
	小中学生	170円(120円)

( )内は20人以上の団体料金。

- 交通案内 ・JR北上駅西口よりバスで25分。  
煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」下車  
徒歩10分。  
・JR北上駅より車で20分。  
・東北自動車道「北上江釣子I.C」、秋田自動車道「北上西I.C」よりともに車で15分。

### 学芸ルームのかたすみで...

この冬、恐れていたほどの大雪にはならず(?) なんとか春を迎えられそうですが、未だ雪に囲まれた鬼の館。そんな中でも周辺の桜の蕾は春を迎えようと必死に準備中! 木々の先端がピンクに色づいています。自然の力ってすごいなあって改めて感じます。本格的な春が待ち遠しいですね。(明)



## 北上市立鬼の館だより

第40号 2014.3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地  
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508